

学生が自主的に取り組む

# 西南学院大学ならではの 実践・支援プログラム！

本学には、教育に関する特色あるプロジェクトを支援するための制度があります。

この制度は、学部(学科・専攻)でのプロジェクトを支援するプログラムと、  
小単位(ゼミ等)でのプロジェクトを支援するプログラムの2つの枠組みで構成されています。

いずれも、先生方がアイデアを出し合い、プロジェクトを構築し、学生に「学びのフィールド」を提供しています。

また、2019年度からは、学生グループが企画したプロジェクトを支援するプログラムを開始できるよう、検討しています。

これは、学生さんが自らプロジェクトを構築し、日頃の学修の成果や経験を元に  
さらなる活動・活躍の場を広げることを支援するものです。

## 西南学院大学における特色ある教育支援の歩み

### 教育支援プログラム 2017年度スタート

学内GP、教育IPの知見を活かし、新たに設置されました。「学部単位」、「ゼミ等の小単位」に分けることにより、学部(学科・専攻)の特色を活かした、多種多様なプロジェクトが展開されています。

### 教育IP (インキュベートプログラム) 2012年度後期～2016年度

学内GPに代わり、ゼミや事務局単位、短期間のプロジェクトの応募を可能にし、募集終了の2016年度までに36件のプロジェクトが採択されました。

### 学内GP (グッドプラクティス) 2006年度～2012年度

取組みは学部単位で支援期間は最大6年。大きなプロジェクトが実施されました。募集終了の2012年度までに20件のプロジェクトが採択されました。

## 2019年度プロジェクト(全16件)

1	神学部	異文化に触れ、宗教と平和について学ぶ研修プロジェクト
2	文学部英文学科	シェイクスピア劇公演の開催
3	文学部外国語学科英語専攻	英語・コミュニケーション研修
4	文学部外国語学科フランス語専攻	p. Communiquons, ペ・コミュニケーション
5	商学部(1)	短期語学研修(韓国)プログラム
6	商学部(2)	海外インターンシッププログラム
7	経済学部(1)	学部1年生のための基礎学力向上プログラム
8	経済学部(2)	国際ボランティア・インターンシップ経験を通じたキャリア開発プログラム
9	法学部	進路を見ずえた学修支援体制の構築 ①学修支援型SA・TA ②「ことばの力」養成講座 ③インターナショナル・サービス・ラーニング ④文章作成・添削講座
10	人間科学部(1)	一取組A—地域連携型学習プログラムの開発・導入の推進 ①西南オラトリオ・アカデミー ②チルドレンズ・ミュージアム ③九州学生心理学会 ④コンサート・アウトリーチ事業
11	人間科学部(2)	一取組B—国際貢献(交流)型学習プログラムの開発・導入の推進 ①東アジア保育・教育交流 ②社会福祉海外実習 ③途上国への国際教育協力プロジェクト ④ベルリン芸術教育交流
12	人間科学部心理学科	WHO版PFA研修を軸とした災害ストレスと心のケア教育の展開
13	国際文化学部	戦争をフィールドワークする(その3)—第二次世界大戦が残したものを通して「平和」について考える—
14	国際文化学部藤田3年ゼミ	死刑を哲学する—萱野稔人氏を招いて
15	法学部根岸ゼミ	人の痛みを知るための法教育—九州で国際の狭間に置かれる人々に寄り添う—
16	大学博物館	大学博物館における「デジタル・アーキビスト」養成プログラム —資格取得とデジタル・アーカイブ事業の実践を通じて—

## 教育支援プログラムの流れ



### ちょっとご紹介!

### 2つのプロジェクトをご紹介します!

文学部外国語学科  
英語専攻

#### 「英語・コミュニケーション研修」

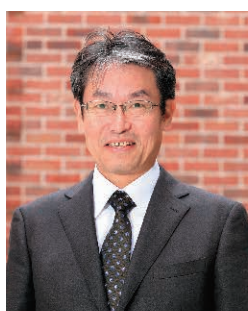
英語専攻では、米国ペンシルベニア州立大学アピントン校(以下、PSU)と文学部の学部間協定の下、PSUが構築した英語専攻の学生だけのための「英語・コミュニケーション研修」に学生を派遣しています。語学力だけではなく、コミュニケーションの根幹として重要な問題発見・解決力の修得と実践も目指し、3つの内容で構成しています。①短期集中型の語学研修及びフィールドトリップ(ニューヨークなど)による語学力の向上、②PSU学生と1対1で対峙し、相互の言語及び文化について学ぶ、異文化コミュニケーションの実践、③渡航準備や帰国後の成果発表等、自己責任での活動を通じた、問題解決型思考の体得です。このプログラムは、メッセージ発信力はもちろん、認識力や目的力の向上も含んだ、「真のコミュニケーション」能力を持つグローバル人材を育成することを目指します。



人間科学部(2)

#### 「一取組B—国際貢献(交流)型学習プログラムの開発・導入の推進」 ③途上国への国際教育協力プロジェクト

人間科学部では、国境を越えて、研究・教育の文脈において多様な文化における各々の営みを比較したり体験したりする研修を支援しています。このうち、西南国際教育協力隊(Seinan International Education Cooperation)という学生有志で構成される学生団体では、主に、カンボジアやラオスで教育支援のボランティア活動を行っています。SIECでは、現地の小学校を訪問し運動会の開催、体育や音楽の提案授業をするなどの活動を行っています。この取り組みでは、現地の学校が運動会・文化祭をはじめとする学校行事を自主企画・運営できるようになるだけでなく、長引く内乱で失われた地域住民間の信頼関係、連帯感を再構築し、学校を中心として地域社会を再結集することを支援しています。現地実習に参加した学生は、教育支援活動の中で出会い向き合った各自の問いについて考え、その問いについて周囲と共有したり、課題解決を目指したり、学修を深めています。こうした経験はその後の学生生活、ひいては人生にも有意義であるといえるでしょう。



### 新しい世界を広げていきましょう。

教育・研究推進機構長(副学長) たていし たけし  
立石 剛

大学での学びは、それ以前の学習方法とは大きく異なり、受動的に学習するだけではなく、自分自身で問題を発見し解決する意思を持つことが重要となります。しかしながら、高校までに修得した知識や得た経験は、間違いなく皆さんを形作っており、それらの基礎的能力があるからこそ、大学での学びが生きてきます。各専門分野に関する授業や、部活やサークルといった様々な活動を通じた4年間の学修の成果は、卒業後、社会で活躍するチャンスを広げることでしょう。教育・研究推進機構では、こうした高大社接続を念頭に置きながら、皆さんが自律的に行動し学ぶための教育支援プログラム制度を設けています。ローカル・グローバルを問わず、教養豊かな実践感覚を培うことができる取り組みが企画されています。本学キャンパスだけではなく、国内外へ積極的に活動の場を広げ、新しい世界を広げていきましょう。